

アイスブレーキング集

アイスブレーキング2 「エアキャッチボール」

ねらい

- ・自分を表現し、他者の考えを受け入れることによって、互いに尊重し合う心を育む。
- ・協力して活動することで味わう感覚や喜びを体感する。

進め方

- ① 4～6人のグループを作り、自己紹介する。
- ② グループで仮想のキャッチボールをするためのボール・ものを決める。
- ③ 仮想のキャッチボールを行う。
- ④ 振り返りを行い、感想を発表する。

例：野球ボール、卓球の玉、紙風船、ボーリングの玉、すいか、生たまご など

留意点

- ・イメージの違いは誰にでもある。無理に合わせようとせず、お互いの言動を尊重しながら行う。

アイスブレーキング3 「芝生に寝転んだら…」

ねらい

- ・自己紹介をとおして話しやすい雰囲気を作り出し、お互いを知るきっかけとする。
- ・自分を表現すること、他者の考えを受け入れることによって、互いに尊重し合う心を育む。

進め方

- ① 4～6人のグループを作る。
- ② 芝生に寝転んだ子どもの頃の自分を想像しながら、「芝生に寝転んだら…」に文を続けて、順番に自己紹介する。
(例) 芝生に寝転んだら…「高い空に、雲が次から次へと流れていた」「つい寝てしまった」「バットが足にとまった」「ごろごろ転がり始めた」「雨が降ってきた」「家の人たちがもうご飯だよと言って迎えに来た」
- ③ なぜその答えにしたのか、子どもの頃の思い出など、お互いに話を聞き合う。
- ④ 振り返りを行い、感想を発表する。

留意点

- ・考えや思い出は人それぞれのものであり、だれも否定することはできないことを理解する。
- ・はじめにファシリテーターが例を示すと良い。
- ・思いつかない場合には「想像で構わない」ことを伝え、明るい雰囲気で行う。